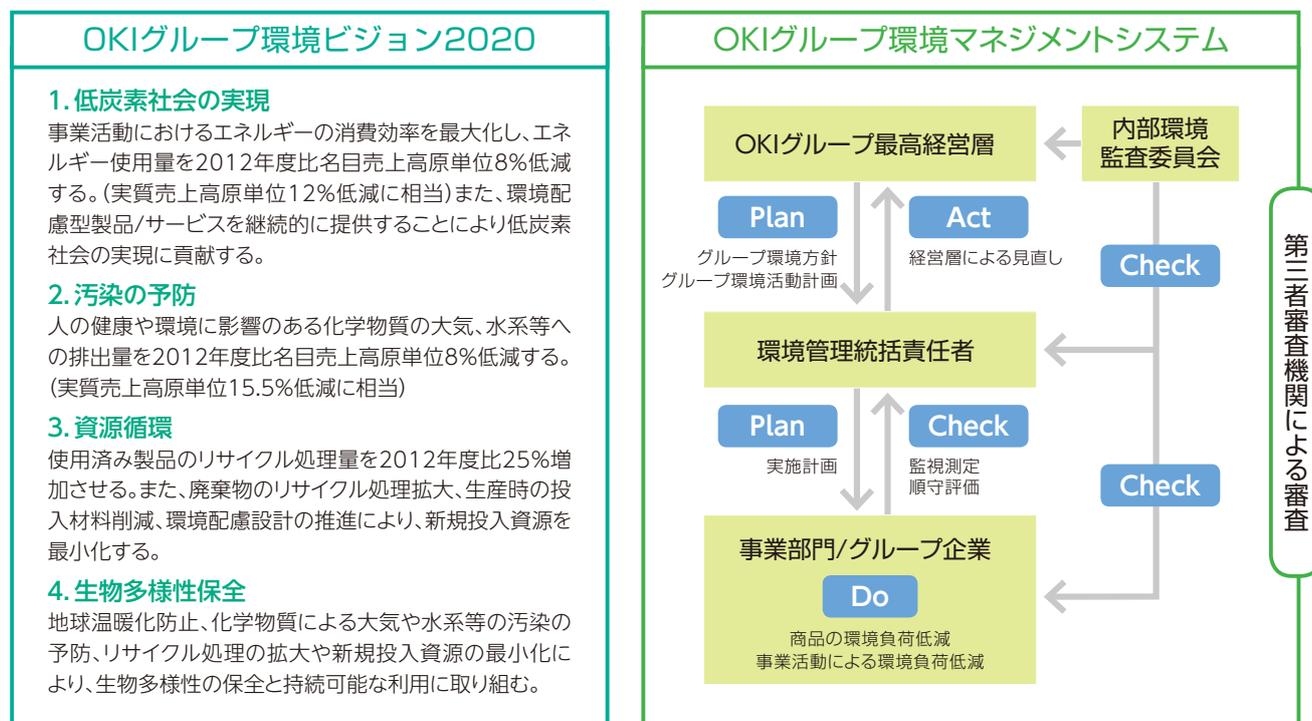


環境への対応

OKIグループは、環境課題を見据えて策定した「OKIグループ環境方針」のもと、中長期目標として4つのテーマからなる「OKIグループ環境ビジョン2020」を掲げ、具体的な活動項目を計画し実行しています。また環境経営の基盤となる環境マネジメントシステムを、グループ全体で実践しています。



OKIグループの主な環境活動計画(2015年度)目標と実績

区分	活動内容	2015年度目標→結果
低炭素社会の実現		
商品系	省エネ製品の開発	5製品以上→7製品(従来比50%以上削減)
事業系	事業所(工場、オフィス)の省エネ	8%以上削減→1%削減(2012年度比原単位※1)
汚染の防止		
商品系	含有化学物質規制に適合した製品の開発	30製品以上→49製品
事業系	工場からの化学物質排出量削減(大気・水・土壌)	7%以上削減→3.2%削減(2012年度比原単位※2)
	化学物質関連の法令順守(大気・水・土壌)	法令監査への適合、法令違反ゼロ→達成
資源循環		
商品系	使用済み製品のリサイクル	4,000t以上→3,330t
	リサイクルが容易な製品の開発	20製品以上→30製品
事業系	廃棄物の削減と適正処理	ゼロエミッションを国内の11拠点で実践→達成
共通		
生物多様性保全	低炭素社会の実現/汚染の予防/資源循環	上記取り組みの推進
従業員教育	社内ニーズに基づく教育の実施	理解度95ポイント→95ポイント(14講座実施)

※1 エネルギー使用量(原油換算値:kJ)/連結売上高(億円)

※2 化学物質排出量(t)/生産高(億円)

ライフサイクルを通じた環境活動

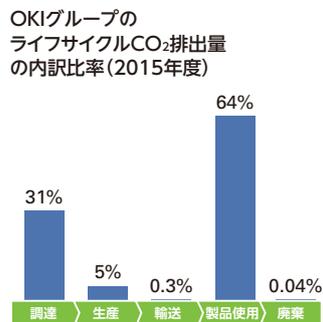
OKIグループは社会インフラを支える企業として、「ライフサイクル」の各プロセスにおける環境負荷低減と法令順守に努め、お客様や社会に安心・安全を提供しています。

●OKIグループのライフサイクルCO₂排出量

OKIグループでは国内外のサプライチェーン全体のCO₂排出量を把握すべく、ライフサイクルCO₂の調査を行っています。

この調査の結果、ライフサイクルを通してグループ全体では約200万トンのCO₂を排出しており、その6割を製品使用時のCO₂排出が占めることがわかりました。お客様のニーズを満たしながら、製品の省エネルギー性能をアップすることがより一層求められます。

OKIグループでは製品の省エネなど環境負荷低減を促進する施策を推進しています。



●製品の省エネを促進する社内制度

OKIグループでは、環境性能に優れた商品を「OKIエコプロダクツ」として認定する制度を導入しています。特に省エネ性能については、従来比50%以上を最上位とした3段階の省エネルギー効果別基準を設けるなど、省エネ製品の開発を促進しています。

2015年度は最上位のOKIエコプロダクツ・ダブルプラスとして、7製品を新たに登録しました。

商品を通じた環境負荷低減の取り組み

「低消費電力化」「化学物質規制などへの適合」「省資源化」に積極的に取り組み、環境配慮型商品を提供することで環境負荷の低減に貢献しています。

●ATM省エネの鍵を握る待機電力

「ATM-BankIT Pro」および省スペースATM「CP21Z」は、待機中の消費電力を従来機より大幅に削減しています。お客様の操作に影響を与えないよう待機後の瞬時の立ち上がりなどに配慮しながら、周辺ユニットの電源を個別に管理できる節電技術などにより、「ATM-BankIT Pro」で最大75%、「CP21Z」で最大60%の削減に成功しています。



ATM「CP21Z」

事業活動における環境負荷低減の取り組み

OKIグループの各拠点で、環境負荷の低減に貢献するさまざまな活動を推進しています。

●製造ラインの変革により電力・資源を70%削減

長野OKIでは、電子部品をプリント基板に取り付ける工程に「ポイントDIP」マシンを導入することにより、同工程における電気使用量を74%、はんだ使用量を70%削減しました。

従来の工程では、はんだ槽にプリント基板全体を浸漬して部品をはんだ付けしており、槽内ではんだを溶融させておくために大量の電力が必要でした。「ポイントDIP」により、必要な箇所ピンポイントではんだ付けすることが可能となり、電力量とはんだ使用量を大幅に削減することができました。

ライフサイクルから見たOKIグループの環境活動

	調達	生産	輸送	製品使用	廃棄
低炭素社会	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ部品の選定 一括購入による輸送回数削減 	<ul style="list-style-type: none"> 生産効率の向上 設備の運用改善 生産設備の更新 	<ul style="list-style-type: none"> モーダルシフト 商品積載の効率化 商品の小型軽量化 	<ul style="list-style-type: none"> 待機電力の削減 遠隔保守の活用 機構の簡素化 	<ul style="list-style-type: none"> 製品回収ルートの短縮 バイオマスプラスチックの使用
汚染の予防	<ul style="list-style-type: none"> 有害物質を含まない部品や材料の調達 	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質の使用、排出削減 有害物質の混入防止 代替物質の採用 	<ul style="list-style-type: none"> 禁止物質を含まない梱包材の採用 	<ul style="list-style-type: none"> 製品や梱包材への化学物質の使用量削減 	<ul style="list-style-type: none"> 製品や梱包材への化学物質の使用量削減
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> 調達量の最適化 梱包材の再利用 	<ul style="list-style-type: none"> 投入材料の最適化 投入資源の最適化 廃棄物の再資源化 	<ul style="list-style-type: none"> 簡易包装 輸送資材の再利用 	<ul style="list-style-type: none"> 商品の長寿命化 保守部材の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 使用済み製品の再資源化 リサイクルの容易な設計 商品の小型軽量化

環境活動に関する詳細は、「環境報告書」およびウェブサイトでご報告しています。



ウェブサイト「環境への取り組み」

<http://www.oki.com/jp/eco/>